

< 中学部ろう教育部門 >

育てたい生徒の姿

- ・自分自身を正しく見つめ、たくましく生きる生徒
- ・互いに協力し、より良い人間関係を築く生徒
- ・進んで言語・知識・技能や社会性を身に付け、主体的に取り組む生徒

学部教育目標

- ・自分の課題を認識し、目的意識と向上心をもって活動に取り組む。
- ・学習活動や行事などで、自分の役割を自覚し、責任をもって取り組み、達成感を得る。
- ・自分の適性を知り、夢をもち、自分に合った進路実現を目指して学習に取り組む。

学部運営の方針

項目	運営方針	年間計画
生徒理解・ 生徒支援	・生徒の聴こえや言語理解の状態を正確に把握し、職員間で情報共有して適切な支援へつなげる。 ・生徒の思いや願いを聞き取り、気持ちに寄り添った支援に努める。 ・口話、手話など多様なコミュニケーション手段を活用する力を育てる。	・聴力測定（各学期および必要時） ・聴能週間（6月） ・個別懇談（各学期および必要時）
学習指導	・学力向上に向けて個々の課題を明確にし、授業を工夫する。 ・生徒が意欲的に取り組み、達成感が得られるような学習課題を設定する。 ・自分の意見や考えをもち、きちんと伝えられるよう授業の中で考えたり発表したりする場面を多く設定する。 ・生活場面での日本語表現や書きことばの表現が広がるよう支援する。	・視覚支援教材の開発（通年） ・定期テストの実施（年4回） ・各種検定への参加 ・長期休業中の学習課題 ・学部内での研修（随時）
生徒指導	・社会性を高め、より良い人間関係を築くための活動を工夫する。 ・生徒指導上の問題に対する学部全体の共通理解を図り、協力して問題解決に努める。 ・学校生活アンケート等によりいじめや悩み等の点検を行い、共通理解のもとで対応していく。 ・学部内の報告や連絡、相談を徹底する。	・年度始めの指導（4月） ・長期休みの指導（休み前の学部集会で行う） ・学校生活アンケート（年3回） ・生徒についての報告会（月1回、学部会時）
進路指導・ キャリア教育	・総合的な学習の時間や自立活動で、自己の適性と課題を明確にさせ、進路の自己選択に向けての意欲を高めさせる。 ・高等部の作業学習を体験させたり、施設の見学や体験を行ったりして、将来の進路について考えさせる。	・進路学習 ・職場見学・体験 ・作業体験
保健 給食指導	・保健だより・給食だよりを活用する。 ・歯磨き、手洗いの習慣を定着させる。 ・給食の片付けを、ルールを守ってできるよう支援する。 ・正しい食習慣や食事のマナーを身に付けさせる。	・手洗い週間 ・歯磨き指導 ・給食週間の取り組み
保護者や関係機関との 連携	・学部だより、学級だより、連絡帳等で、家庭との連携を密にして連携を図る。 ・定期的に授業参観や学部・学級の懇談会を設定する。 ・医療機関、公共機関、施設等と情報交換する機会を設ける。	・保護者懇談会（4月・6月・10月・3月） ・各機関との打ち合わせ（適宜）

中学部ろう教育部門

○教育課程（普通学級） 週時数

学年 領域・教科		1 年	2 年	3 年
各教科	国語	4	4	3
	社会	3	3	4
	数学	4	4	4
	理科	3	4	4
	音楽	1	1	1
	美術	1	1	1
	保健体育	3	3	3
	技術・家庭	2	1	1
	外国語	4	4	4
特別の教科 道徳		1	1	1
総合的な学習の時間		2	1	2
特別活動		1	1	1
自立活動		1	2	1
合計		30	30	30

○教育課程（重複障害学級） 週時数

領域・教科		A	B
各教科	国語	3	3
	社会		
	数学	3	3
	理科	3	
	音楽	1	1
	美術	1	1
	保健体育	3	3
	職業・家庭		
	外国語	2	2
	(情報)		
教科等を 合わせた指導	社会生活	3	2
	家庭生活	2	1
	自然科学		2
特別の教科 道徳		1	1
総合的な学習の時間		2	2
特別活動		1	1
自立活動		5	8
合計		30	30